

第54回

地域活性あんしん交流会

～地域活性化・安心安全な地域創りを目指して～

2016年 **11月18日** **金** 19:00-21:30

東京都新宿区四谷4-3-1 ワールド四谷ビル7階 四谷三丁目駅より徒歩2分

セミナー①

「地方創生最前線 ～地域経済が循環する仕組みとは～」

講師：庄司岳氏 ふるさと創生プロデューサー

(有)S.Company 代表/ノーザンランド(株) 専務/地賛智商活力会議 座長

江戸在住350年目の庄司家13代目。大卒後、IT業界を経て2002年に通販事業に初参入。

九州の蔵元200余りの徹底取材を通じて本格焼酎の人気商品を数多く育て、

2007年の楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー(和酒部門)を受賞。

その後、得意のWEBブランディング・集客できるEコマース戦略の実績を活かし、

各企業のWEB戦略コンサルティングから実践コーチングまで幅広く活動中。

2015年より地方創生コンサルティングの依頼を受け、種子島ブランディング、道東インバウンドプロジェクトを手掛け、東南アジアとのパイプを活かしながら、地方活性化に取り組んでいる。

2016年からは「地賛智商活力会議」を立ち上げ、地方創生に関わる熱き思いの関係者をつなげ、地方経済復活へ向けて精力的に活動中。



セミナー②

「生きていたくなるまちづくり」

講師：木谷正道氏 NPO法人暮らしと耐震協議会 理事長/

首都防災ウィーク 事務局長 / 碁石海岸で囲碁まつり 実行委員長

東大経済学部卒業後、東京都庁に勤務し、調査研究室長、産業政策担当部長、IT推進室長等を経て2007年に退職。

首都地震への危機感から2002年に「NPO法人東京いのちのポータルサイト」を設立(現 副理事長)。

2007年に「暮らしと耐震協議会」設立、第一回日本耐震グランプリ内閣総理大臣賞。

施設での弾き語り、コンサート、囲碁普及、被災地支援などに取り組み、縦割りではなく横ぐし、多彩なネットワークの結び目となっている。

本年8月にNHK「週刊ニュース深読み」出演。12月11日「心の唄～共に生きる」開催(大井町きゅりあん)。



参加費

一般会員 4,000円(税込)

非会員 5,000円(税込)

学生(一般会員) 1,000円(税込)

※一般会員の入会金・年会費等は無料。当日登録も可。

※セミナー代、飲食代込。

※ソフトドリンクのみの場合は参加費500円割引(学生除く)。



交流会・一般会員
お申し込み

一般社団法人 日本あんしん生活協会

<http://www.rlja.org/>
info@rlja.org



第
53
回

「日本まるごとオーガニックプロジェクト」 鳥谷恵生 氏 日本オーガニックファーム協会 代表

1989年高知県四万十市生まれ。農家の家に生まれて、自然が大好き。学生時代に精神的にどん底に落ちたが周りの人のおかげで立ち直り、「自然を大切にしながら、人も幸せにできる仕事をつくる」という信念の下、農業関連会社を設立。その後、「日本オーガニックファーム協会」を立ち上げ代表となり、有機農業に関する出版や営農指導などの事業を手掛けている。並行して、日本発祥の上総掘りという井戸掘り技術をアフリカ現地の人々に伝承し自立を促しながら、アフリカの水問題解決を目指すNGOの理事として日本事務所を設立し支援活動を展開中。



第
52
回

「利益の創造と社会への貢献を同時に実現する文化をつくる」

若園忠義 氏 (株) テーブルクロス プロデューサー

(株) ハッピーマーケット、(株) パーテックス、(株) ウィズ、BANKER (合)、(株) イスト等の起業と代表を務めてきた連続起業家。飲食、IT、制作、金融、医療、サービスなど様々な分野におけるビジネスを考案し、革新的な仕組みづくりを行う。技術的な面で特許を有するだけでなく、語学も堪能でグローバルに活動の幅を広げている。プロデュースした飲食店予約アプリ「テーブルクロス」は、飲食店を1人分予約すると発展途上国の子供1人に給食が寄付される。



第
51
回

「遊んで学ぶ防災術 ～防災士パパが家族に教えるコト～」 防災士 渡辺徹 氏

東日本大震災を機にインテリア商社から防災をライフワークにする。情報弱者になりがちなママのための災害対策サイト『防災ママ』を運営。熊本地震では地震発生後2日後に現地入りし支援活動を行う。危険警告だけでなく、楽しみながら防災を身に付ける一環として『オトナ探偵ごっこ』『サバイバルゲーム』『グランピング』を防災に取り入れる『ながら防災』を展開中。『オトナ探偵ごっこ』は街中で探偵と犯人に別れ、様々なミッションを行いながら判断力と避難場所を遊びながら身に付けるイベントで、秋葉原、渋谷、赤羽、浅草等で行ない、特に江ノ島では観光協会と企業協賛を得て開催。迫り来る大震災に対して、防災の大切さを分かりやすく楽しみながら、一人でも多くの人に伝えることに日々邁進中。



第
50
回

「迫り来る東京大地震からどのように生き残るか？ 命を守る優先順位について」

瀧澤一郎 氏 NPO法人東京いのちのポータルサイト (いのポタ) 理事長

「いのポタ」は、迫り来る首都圏直下型地震をはじめとした大災害に対して行政任せにするのではなく、人と人とのつながりを基にした地域防災で迎え撃つという考えの下、内閣府・様々な大学・研究者・東京都・各区防災課・ゼネコン等立場の有志が集まる、防災専門のNPOであり、設立以来「耐震化推進」と「家具固定」を最優先課題として取組んで来た。現在は東京都慰霊堂における「首都防災ウィーク」の開催をメイン事業に日々震災対策に関する様々な情報交換を行っている。



「災害時の水不足と世界の水危機の解決を目指して～空気から安心安全な飲料水を創る～」

河崎悠有 氏 日本エコブルー株式会社 代表取締役

名古屋市立大学でデザインを学び、米国に長期インターンシップ留学後、(株) 観光企画設計社に入社。2011年に独立後、2014年に株式会社ナイトフッドを設立。デザインのみならず様々な分野にて事業展開し、空気から水を創るウォーターサーバー「エコブルー」に出会い、2016年に日本エコブルー株式会社代表取締役に就任。「空気から飲料水を創る」技術を活用し、防災、海外支援の分野でプロジェクト進行中。



第
49
回

「20歳から始める認知症予防トレーニング」 館野 健三 氏 認知症予防脳トレ士

小学校教員を39年間勤務。うち教頭、校長を16年勤め上げる。退職後、東京都大田区教育委員会を兼任し、認知症予防脳トレ士スーパーバイザー、コミュニティ脳トレ士、軽度認知症診断士として精神内科医師・某大学学長の協力により、脳科学最新情報を取り入れた講演を三菱総研や長野県清泉女学院大学などで開催。全国90箇所、合計3000名の認知症予防に寄与してきた活動が長野、栃木、千葉地方新聞に掲載され、特に東京都大田区認知症予防脳トレ講座は6年目を迎え、毎回申し込み開始後すぐにキャンセル待ちになるほどの人気。親と教師の付き合い方など23冊を出版。



「うつ、ストレス、メンタル不調を克服する自分らしく生きる脳科学メンタルトレーニング」

講師：山本潤一 氏 日本メンタル再生研究所 所長

筑波大学名誉教授の宗像恒次博士が脳科学などの研究により開発した独自のイメージワーク法に1995年に出会い、自らの対人恐怖を克服する。以後、15,000人以上のビジネスマンを支援し、某上場企業では、3年半の間初回うつ休職者の再発率0%という結果に貢献し論文も発表される。現在は、復職支援、再発防止支援などの他、事業継承の際の後継経営者に対する人間関係ストレス解決支援などを行っている。



第
48
回

「M8.2以上の地震を30分前に通知 ～地震予知の必要性と防災～」

犬伏裕之 氏 みらい地震予測 株式会社 代表

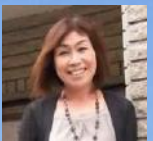
東芝にて原子力発電所の設計及び緊急地震速報システムの開発を行いながら、並行して個人の立場で「地震予知の実用化」の研究開発および企画検討を15年以上行う。01年～07年、自費で電気通信大学大学院博士課程に入学し地震予測の研究を行う。2012年、東日本大震災直後に地震予知手法を発見した北海道大学大学院の日置幸介教授と出会い実用化を開始。2015年1月に「みらい地震予測株式会社」を設立し地震予測通知サービスを開始。



第
47
回

「家庭の食卓を豊かに～つながる家族と幸せ～」 櫻井友子 氏 株式会社さくら工房 代表

「母親の目線で家族に食べさせたいもの」をコンセプトに「安心安全な食を通じて、こどもたちに“本当の舌”をつくること」を目的として「さくら工房」を2008年に設立。忙しいママを応援する「一石五鳥」をコンセプトとした商品開発や、地域・企業・行政などからの依頼による食育セミナー、ワークショップの開催をしている。2016年は「おごない食 (補食)」「ながら防災食」による食育に力を入れている。読売新聞、テレビ神奈川、FM横浜等のメディア掲載も多数。



第
46
回

「エコヴィレッジによる循環型社会を目指して」 相根昭典 氏 一般社団法人 天然住宅 代表

一級建築士として25年前から住宅での化学物質汚染 (シックハウス) に危機感をもち、「省エネ・高耐久・健康住宅」の設計・監理業務に加え、安全な自然素材の建材の研究・開発、コンサルティング、マスコミに発信して講演などを行う。現在は、循環型社会を目指した林業再生・森林復興とエコ建築・エコヴィレッジの具現化に重点を置き活動している。



第
45
回

「自然との共生について」 浅井工壹 氏 Nature's Best Photography Asia(NBPA)代表

「NBPA」は、自然をテーマにした世界二大フォトコンテストの一つで47ヶ国から毎年2万点以上の作品がエントリーされ入選作品約50点が世界最大の来場者数を誇る米国スミソニアン国立自然史博物館に展示。日本においては浅井氏を中心に震災直後の2012年から世界で唯一単独国で開催される「ネイチャーズ・ベストフォトグラフィー・ジャパン」を誕生させ、2015年からはアジア50ヶ国が参加する「NBPA」を開催。



第
44/53
回

「無農薬・無化学肥料でも多収穫を実現する農業とは？」 野々川 尚 氏

昭和57年に北海道で無農薬・無化学肥料の農業を始め、昭和63年には日本初の生産者主体で農産物を消費者へ直送する宅配システムを確立。その後、西オーストラリア州政府の要請で日本向け大規模農場の技術指導者として豪州へ移住し、さらに中国をはじめ、東南アジア地域からも依頼が続き、20年間海外で栽培技術の普及に努め、NHK番組にもたびたび出演。現在は「日本の農業の元気を取り戻す」「すべての家庭に健康野菜を届ける」をモットーにアグリコンサルタントとして日本で活動中。

